

歯学研究科

学位プログラム： 生命医科学の社会実装プログラム（口腔科学）

授与する学位： 博士（歯学）

教育目標

大阪大学及び歯学研究科の教育目標のもと、学位プログラム「生命医科学の社会実装プログラム」では、口腔科学をベースにして人のからだ全体を科学の目で見ることができ、次世代の歯学研究・歯科医療を牽引する人材（オーラルヘルス・サイエンティスト）の育成及び卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を兼備した人材の育成を目標としています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・口腔科学をベースにした生命科学に関する最先端かつ高度な専門的知識と、生命科学を俯瞰するより広い領域で独創的な研究を展開し深化させる実行力を持ち合わせた最前線の研究者及び先進歯科医療を牽引する高度歯科医療人の育成を図ります。

○高度な教養

- ・口腔科学に関連する学問分野における様々な情報を効率的に収集し、高度な専門的教養を身につけた「オーラルヘルス・サイエンティスト」の育成を図ります。

○高度な国際性

- ・歯科医学、歯科医療における世界的な課題の問題提起とその解決を推進する世界レベルで活躍できる国際性を有する「オーラルヘルス・サイエンティスト」の育成を図ります。

○高度なデザイン力

- ・口腔科学における先端的な専門性及び高度な教養と国際性を兼ね備えて、歯科医学、歯科医療に加え異分野との連携を推進する「オーラルヘルス・サイエンティスト」の育成を図ります。

○独自の教育目標

- ・生命科学における口腔科学の独自性を理解し、歯科医学、歯科医療をベースにして解決すべき諸問題を提起し、口腔科学に限らず広く学際的分野の専門家と課題解決を推進することができる「オーラルヘルス・サイエンティスト」の育成を図ります。
- ・卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を兼備した人材の育成を図ります。

従来の生命科学では解決できていない様々な課題に対して、口腔科学の視点から洞察することのできる人材の育成を図るとともに、先端的な専門性、高度な教養、国際性に裏打ちされたデザイン力の修得を図ることで、多様な分野で活躍する「オーラルヘルス・サイエンティスト」の輩出を目指しています。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び歯学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「生命医科学の社会実装プログラム」では、口腔科学をベースにした生命科学分野を対象として、以下を身につけた学生に対して博士（歯学）の学位を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・口腔科学の各専門分野における最先端かつ高度な知識、技能を有し、課題解決のために活用できる能力を身につけている。
- ・口腔科学をベースにより広い領域で独創的な研究を展開し深化させる実行力を身につけている。

○高度な教養

- ・口腔科学をベースに高度で幅広い知識を有し、俯瞰的に思考し多角的に評価できる能力を身につけている。

○高度な国際性

- ・歯科医学、歯科医療における世界的な情勢を俯瞰し、現場における課題を把握してその解決を推進する能力を身につけている。
- ・口腔科学における世界レベルでの様々な活動を推進できるコミュニケーション能力と国際的センスを身につけている。

○高度なデザイン力

- ・口腔科学における先端的な専門性及び高度な教養と国際性をベースに様々な領域の学問を融合し、課題解決の道筋を構想できる能力を身につけている。

○独自の学習目標

- ・口腔科学の独自性をベースに生命科学における諸問題を提起するとともに、課題解決のために口腔科学に限らず広く学際的分野の専門家と協働できる能力を身につけている。
- ・歯科医学及び歯科医療に関する高度な知識や技術を社会に還元できる能力を身につけている。
- ・卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を身につけている。

口腔科学における先端的な専門性、高度な教養、国際性に裏打ちされたデザイン力を修得し、従来の生命科学では解決できていない様々な課題に口腔科学の視点から挑むことができる人材に対して博士（歯学）の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び歯学研究科のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「生命医科学の社会実装プログラム」では、口腔科学をベースにした専門力、俯瞰力、複眼的思考能力、社会実装力及び国際性を涵養し、将来の多様なキャリアパスを支援する教育プログラムに基づいて研究指導を実践します。

<教育課程編成の考え方>

口腔科学をベースにした高度で幅広い知識を身につけるために、大学院基本講義及び大学院特別講義を開講しています。また、高度なデザイン力を養成するために疾患別 PBL 歯学教育プログラムを開講し、深い学識を身につけるために基幹研究分野専門教育科目を開講しています。加えて、生命科学の社会実装を身に着けるため、生命医科学の入門科目、研究実践力を強化する研究科横断科目及び研究成果を社会実装する科目・実践訓練科目が開講されています。さらに、高度な教養及び国際性を身につけるために、特別科目を開講しています。コミュニケーション能力と国際的センスを身につけるため、大学院基本講義と特別科目及び一部の大学院特別講義は英語による講義を行っています。高度教養教育及び国際性涵養教育のために、他部局で開講されている大学院横断教育科目、大学院副専攻プログラム・大学院等高度副プログラム等の受講を、また、国際学会への参加・発表を通じて、世界レベルでの研究に触れ、海外の研究者との交流を行うことにより国際性を高めるため国際交流科目の受講を強く推奨しています。

これらの講義や演習、実習、実験を通じて修得される知識や技能をベースにして、4年間を通じて研究指導及び博士論文作成の指導を行い、学位取得へとつなげるプログラム設計となっています。

<学修内容及び学修方法>

- ・口腔科学を専攻して学んでいく上での基本的知識に関する大学院基本講義を学修します。この授業は、英語で行われるため、国際性涵養教育も兼ねています。
- ・国内外の著名な研究者による種々の研究テーマを対象とした大学院特別講義を学修します。
- ・口腔科学に関するテーマに対する問題解決型で分野横断型の疾患別 PBL 歯学教育プログラムを学修します。
- ・各基幹研究分野における基幹研究分野専門教育科目を講義と演習、実習、実験により学修します。
- ・生命科学に関するテーマについての英語によるプレゼンテーション能力向上を目指した特別科目を演習により学修します。
- ・異分野に対する理解を深め、研究実践力を強化する研究科横断型の演習及び実習、研究成果を社会実装するために必要となる知識を身につけるための演習を必修科目として学修します。
- ・研究成果を社会実装する実践訓練の実習を必修科目として学修します。

<学修成果の評価方法>

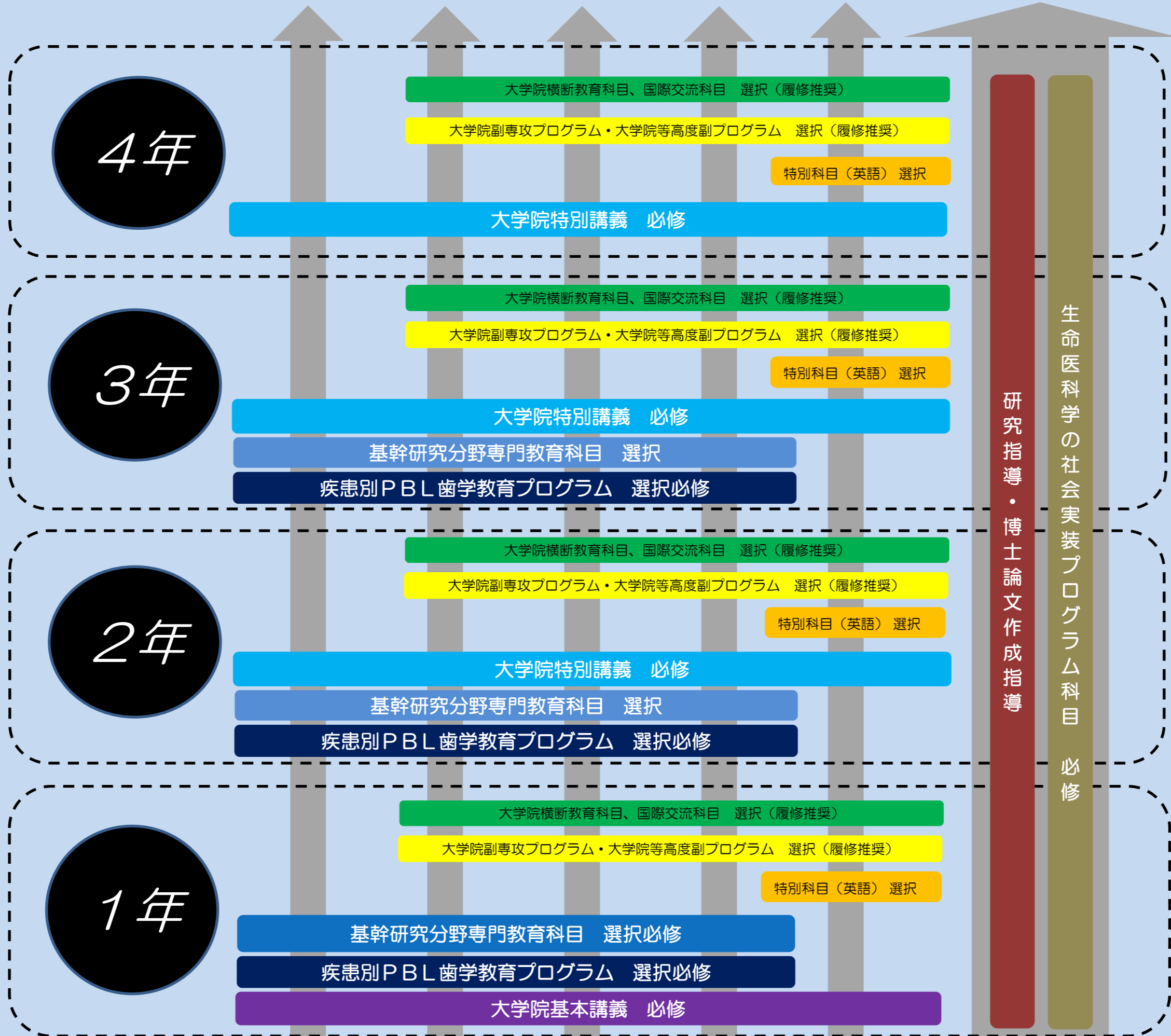
- ・ 講義系科目は、シラバスに記載された学修目標を、レポートまたは筆記試験により、その達成度を評価します。
- ・ 疾患別 PBL 歯学教育プログラム科目は、シラバスに記載された学修目標を、レポート、筆記試験または成果報告（プレゼンテーション）により、その達成度を評価します。
- ・ 演習、実習、実験系科目は、シラバスに記載された学修目標を、レポートまたは成果報告（プレゼンテーション）により、その達成度を評価します。
- ・ プログラム教育については、進級審査を行い、研究実践力を有しているかを評価します。プログラム修了審査では研究実践力に加え、社会実装力を有しているかを評価します。
- ・ 研究指導を受けた上で学位博士論文を作成し、十分な学術的価値を有するかどうかを評価します。

従来の生命科学では解決できていない様々な課題に口腔科学の視点から挑むことができる人材育成を目指し、先端的な専門性、高度な教養、国際性に裏打ちされたデザイン力の修得ができるように、口腔科学に関する基幹研究分野をベースに広範囲な内容が学習できるようにしています。

歯学研究科 口腔科学専攻 博士（歯学）

学位プログラム：生命医科学の社会実装プログラム

博士学位取得



最先端かつ高度な専門性

深い学識

高度な教養

高度なデザイン力

高度な国際性

歯科医学、歯科医療に関する高度な知識や技術を生かした研究
研究実践力
社会実装力

口腔科学をベースにした学際的な協働

		教育目標					
		最先端かつ高度な専門性	深い学識	高度な教養	高度なデザイン力	高度な国際性	独自の教育目標
学 修 目 標	口腔科学の各専門分野における最先端かつ高度な知識、技能を有し、課題解決のために活用できる能力を身につけている。	○	○				
	口腔科学をベースにより広い領域で独創的な研究を展開し深化させる実行力を身につけている。	○	○				
	口腔科学をベースに高度で幅広い知識を有し、俯瞰的に思考し多角的に評価できる能力を身につけている。			○			
	歯科医学、歯科医療における世界的な情勢を俯瞰し、現場における課題を把握してその解決を推進する能力を身につけている。					○	
	口腔科学における世界レベルでの様々な活動を推進できるコミュニケーション能力と国際的センスを身につけている。					○	
	口腔科学における先端的な専門性及び高度な教養と国際性をベースに様々な領域の学問を融合し、課題解決の道筋を構想できる能力を身につけている。				○		
	口腔科学の独自性をベースに生命科学における諸問題を提起するとともに、課題解決のために口腔科学に限らず広く学際的分野の専門家と協働できる能力を身につけている。						○
	歯科医学及び歯科医療に関する高度な知識や技術を社会に還元できる能力を身につけている。						○
卓抜した研究成果をあげるとともに生命科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用するための知のスキルである「社会実装力」を身につけている。						○	